

元気な町だから、
住民の未来が
つくられる

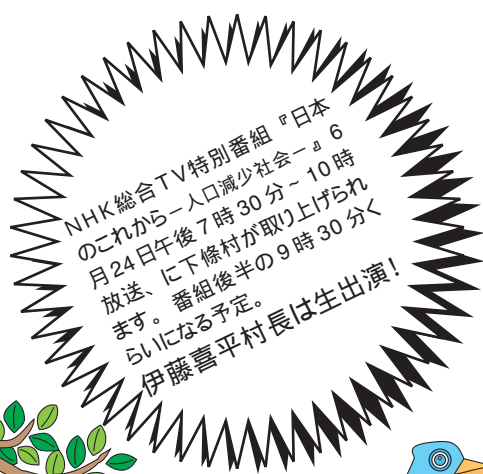
「こんなに元気な村がある！」 住民の顔が見える、 小さな町だから、 やさしい町だから、 住民の体温が感じられる

長野県下伊那郡下條村

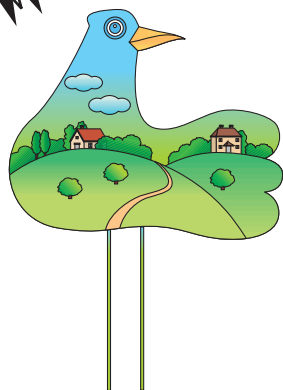
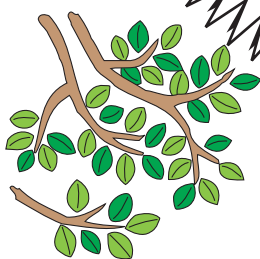
伊藤喜平村長をお招きしての集い



いま、全国で合併が騒がれるなか、がぜん注目されている長野県の下條村。人口 4,218人のこの小さな村が、どのようにして村を再生し、人口が増えつづける「自立(律)」した村として知れわたるようになったのか、今回、下條村の伊藤村長にお越し頂き、その豊かな実践と経験をお話いただき、わが町の未来にもおおいに参考にさせていただこうと企画した集いです。なお伊藤村長の講演後、みなさまからの質問におこたえいただくコーナーを設けてあります。



NHK総合TV特別番組『日本のこれから—人口減少社会—』6月24日午後7時30分～10時放送、に下條村が取り上げられます。番組後半の9時30分くらいになる予定です。
伊藤喜平村長は生出演!



講演会

『住民の顔が見え、

体温が感じられる行政をめざして』

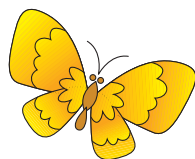
—中小企業経営の経験を活かして、村を再生、人口増を成しとげた村長が語る—

長野県下伊那郡下條村村長

伊藤喜平

■日時 2005 年

6月29日 [水]



午後6時半開場

■場所 県立藤野芸術の家・クリエーションホール

■資料代・カンパ 500円

下條村とは

長野県の最南端下伊那郡のほぼ中央に位置し、飯田市街や中央道飯田インターから約20分。人口4,218人、面積37.66km²、うち山林26.12km²(林野率69.4%)。さまざまな村民本意の行政で着々と定住人口を増やし、村職員の意識改革と画期的な事業展開で村の活性化に成功しています。

詳しくはウラ面をお読みください。